

小高連携授業（国語）

7月10日（月）に、国語の小高連携授業を木の香が薫る丹波市立青垣小学校で行いました。授業担当者の3年生6名が3名一組となって、5年1組と5年2組で「漢字の成り立ち」について授業を行いました。目標は、「楽しく漢字を学び合う」でした。

まず、3人が漢字の成り立ちについて、紙プレゼンテーションをし、多くの漢字が絵や記号を基に、意味と音との組み合わせでできていることを楽しく伝えました。



次に、プリント学習です。限られた漢字のパーツで、一人30字の漢字を見つけていきます。最初はなかなか進みません。高校生の先生がアドバイスに入ります。そのうち、隣近所の児童同士で相談や確認をしながらだんだん埋まっていきます。実際にはない漢字を書いたり、消したりと活発になってきました。

グループワークで答え合わせや教え合いをします。みんな楽しそうに漢字について話したり、書いたりしています。プリントに書いた漢字を黒板に書きます。



最後に、児童の感想を聞きました。高校生から教えてもらってうれしかった、漢字をくっつけるのがおもしろかった、漢字が苦手だったけれど楽しめた、という感想をもらい、授業者の高校生6名は声をそろえて、楽しかったと感想を残していました。



楽しく漢字を学び合う目標は達成できたのではないのでしょうか。